



# 遠隔医療の機器を実体験しながら学ぶ -社会的弱者のための遠隔医療入門-

日 時 2016年6月18日(土) 14:30~17:30 (受付 14:15~)

会 場 東京夢の島マリーナ 会議室 (2F)

〒136-0081 東京都江東区夢の島 3-2-1

TEL 03-5569-2710

HP <http://www.yumenoshima-marina.jp/>



## 【第一部】遠隔医療の勉強会

テ ー マ (1) いっしょに聴いてみよう電子聴診器

講 師 森田浩之氏 岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学・教授

(2) 見て、触って、体験してください。服薬支援装置による見守り

鈴木亮二氏 群馬大学医学部附属病院システム統合センター 助教

(3) 言葉の壁を持つ患者さんに医療通訳支援を！！

—遠隔医療通訳アプリを使って手話通訳のデモや遠隔医療を体験しながら学ぼう—

瀧澤清美氏 藤田保健衛生大学医療科学部医療経営情報学科 客員准教授

(4) コント・つながった！！お医者さん

酒巻哲夫氏 群馬大学 名誉教授・日本遠隔医療学会 副会長

## 【第二部】懇親会

主 催 中枢性尿崩症(CDI)の会

共 催 NPO 地域診療情報連携協議会、

日本遠隔医療学会市民参加の遠隔医療分科会 遠隔医療通訳分科会

日本遠隔医療学会在宅見守り支援分科会

後 援 株式会社 C&T 一般社団法人日本遠隔医療学会

参加申込 下記の専用フォーム、またはQRコードからお申込み下さい。

[http://www.c-and-t.co.jp/htdocs/?page\\_id=81](http://www.c-and-t.co.jp/htdocs/?page_id=81)

参加費 【第一部 勉強会】無料

【第二部 懇親会】3,000円

※懇親会費は当日払いです。

ぜひ、ご参加下さい！



対象者 一般・遠隔医療関係者など (先着 100名)



6月18日は東京夢の島マリーナへ！ 一般の方、大歓迎です

# 当日の予定

司会：酒巻哲夫氏

14:30～14:35 開会・ご挨拶・趣旨説明

無料シャトルバス

新木場駅バスロータリー 13:30 発

14:35～15:15 森田浩之氏 岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学・教授

## ■いっしょに聴いてみよう電子聴診器

医師は聴診器を使って何をしているのでしょうか。何がわかるのでしょうか。聴診器で心臓や肺の音を聴いてみましょう。それがインターネットを通じて音が飛んでゆけば遠隔聴診で、それができるのが電子聴診器です。



15:15～15:45 鈴木亮二氏 群馬大学医学部附属病院システム統合センター 助教

■見て、触って、体験してください。服薬支援装置による見守り服薬支援装置「ふっくん®」は服薬時刻になるとオルゴールが鳴って1回分のお薬を取り出すことができ、飲み忘れた時には装置から支援者に電話連絡され、支援者が患者さんに電話連絡することによって、飲み忘れをなくし、見守りも行うことができるお薬箱です。今回は実際にふっくんをご覧ください。



15:45～16:15 瀧澤清美氏 藤田保健衛生大学医療科学部医療経営情報学科 客員准教授

## ■言葉の壁を持つ患者さんに医療通訳支援を！！

ー遠隔医療通訳アプリを使って手話通訳のデモや  
遠隔医療を体験しながら学ぼうー

遠隔医療通訳支援は、通訳者さんが診察室にいなくても医療通訳支援が出来るように研究開発しているアプリです。難しい医学用語などを、言葉の壁を持つ患者さんに通訳支援します。在宅診療にも転用を想定しています。



患者側

医師側

16:15～16:30 休憩

16:30～17:00 酒巻哲夫氏 群馬大学 名誉教授・日本遠隔医療学会 副会長

## ■コント・つながった！！お医者さん

遠隔医療が難病患者さんの身近なものになるとは、どういうことでしょうか。どの地域に住んでいても、遠隔で専門医による診察が受けられると、どういう利点があるのでしょうか。コント（寸劇）で、会場の皆さまに遠隔医療を体験してもらいます。どんどん突っ込んで下さい。



17:00～17:30 討論会・閉会

17:30～18:00 アンケート記入・休憩

18:00～19:30 懇親会（希望者のみ）

無料シャトルバス

東京夢の島マリーナ第一駐車場前 18:00 19:00 20:00 発  
(最終便)

【お問い合わせ先】 中枢性尿崩症(CDI)の会 大木里美（遠隔医療の勉強会 担当者）

メールアドレス：[enkakutokoton@yahoo.co.jp](mailto:enkakutokoton@yahoo.co.jp)